



TOKYO
SHIMBASHI
ROTARY CLUB
JAPAN
2016/2017



国際ロータリー2750地区
東京新橋ロータリークラブ

A City Alive with Green and Water
街に緑と水を

WEEKLY REPORT



年次標語「みんなで繋ごう、奉仕の和」

1417号 2016/10/25

本日の卓話

慶應義塾大学法学部教授

フィリップ・オステン 氏

「国際刑事法の世界ー東京裁判から常設国際
刑事裁判所へ」
(内海基二会員ご紹介)



～～前回の例会～～

公益財団法人渋沢栄一記念財団

主幹(研究) 木村 昌人氏

「渋沢栄一と慈善事業」

(青木芳郎会員ご紹介)

渋沢栄一につきましては、第一国立銀行を設立した等、資本主義の側面から語られることが多いのですが、私はあまり知られていない部分についてお話ししたいと思います。

そもそも渋沢栄一は、資本主義の父と呼ばれることをあまり喜んではいませんでした。彼は常々、日本は合本主義でいかなければならない、と主張していました。合本主義とは、事業の目的を良く理解し、如何に公益に資する意味で重要かを世間に知らしめた上で、多くの人から広くお金を集め、長期的な利益を出していこう、とする考え方です。一橋大学の設立についても、ビジネスをやる人こそ学校教育を受けなければならない、と文部省を説得し、東京商科大学として開校にこぎつけました。一橋大学の外、日本女子大学、二松学舎大学にも深く関わっています。

91年の生涯でこれだけのことをやり遂げたのは驚きです。幸田露伴、大仏次郎といった文学者が渋沢栄

一を題材として書くのは主に 30～40 歳くらいまでの姿ですが、慈善事業に力を入れたのはその後の時期になっています。

彼は生涯で 4 回渡米していますが、そこで見た慈善事業を手本にしました。また、当時の西洋学問を学ぼうと言う風潮の中で、孔子の論語を自分のバイブルとして常に参考にしており、自分の体験に基づいた論語の解釈についての講演もしていました。

渋沢は徳川昭武に従ってパリ万国博覧会に随行するのですが、途中で江戸幕府が倒れ、仕送りが途絶えてしまい、預かっているお金でやり繰りしなければならなくなりました。そこで手持ちのお金で資産運用をしたり、為替取引を行って金融実務を身につけ、帰国費用を工面しただけでなく、帰国後収支報告書まで作成しました。当時そんな日本人はいなかったと思います。

彼は必ず自分の目で確かめました。人に会う、現場で確認する、ことを大事にし、パリの下水道も実際に見に出かけました。好奇心旺盛で、体力もあつたため、自分に必要と思うことは何でもやっただけです。パリのオペラ座を見て、国立劇場を設立したのもその一環です。

当時、大阪商工会議所を立ち上げた五代友厚とは、東の渋沢、西の五代と比較されていました。五代はそれまでの商人の組合を大事にしようという考えでしたが、渋沢は商人が世論を形成する場所として必要であるという理由で、誰でも会員に入れ、更に世間に訴えるためには新聞が必要という理由で、後の王子製紙まで設立しました。

60～70 代は、色々なことを引き受けまして、慈恵会、済生会設立、明治神宮の建立、日光東照宮の整備、増上寺・寛永寺の再建と様々でした。

1909 年に大勢の財界人を引き連れてシアトルから汽車で 3 ヶ月間、全米の主要な都市を回りました。そこでエジソンやロックフェラー、タフト大統領とも会うのですが、必ず大学、教会、福祉施設を視察先に入れ、随行した皆に見せるようにしました。その影響は大きかったようです。

最後に、日本はお金のある国です。世界にもっと色々な貢献が出来るはずで、日本人も、自分たちが文化を作るんだという気概を持って、事業をやって頂きたいと思っています。



第 1463 回例会報告

■ 10月18日 例会プログラム

1. 点鐘 2. ローターソング「われらの生業」、
本日の歌「鉄道唱歌～東海道編～7番」
3. 会長報告 4. 委員会報告
5. 卓話 6. 点鐘

■ 出席報告

10月18日出席者 39名 ビジター4名 出席率 68%
10月4日出席者 36名 メーキャップ9名 計 45名
会員数 58名 出席対象者 57名 修正出席率 79%

■ ビジター(敬称略)

長家 靖(岡山南)、嶋田 誠次郎(大阪北)
岡 常吉(東京日本橋)、山田 祥(東京日本橋)

ニコニコボックス

.....

青木 芳郎 本日の卓話は、日本資本主義の開祖といわれる
渋沢栄一先生の違った側面のお話をして頂きます。

村木 茂 先週のイスタンブールの国際会議に出席しました。
プーチン、エルドラン大統領の直ぐ後にすわる機会があり緊張しました。

金澤 洋 今日は、後程①アンシャンテ・チャリティー・コンサートの
ご案内をさせていただきます。あわせて②来年のカンボジア旅行の仮募集の
ご案内もいたします。

尾島 俊雄 家内の誕生日にお花をありがとうございます。

長尾 正平 家内の誕生日にきれいなお花有難うございます。

岸野 順治 妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございます。

本日の歌「鉄道唱歌 ～東海道編～ 8番」

ここに開きし頼朝が
幕府のあとは何かたぞ
松風さむく日は暮れて
こたえぬ石碑は苔あおし

ふれあいの場

○会長報告(長尾会長)

先週は祝日の属する週と言うことで、振替休日扱いとなり、2週間ぶりの例会となりましたが、その間にめっきり秋めいて参りました。親睦委員よりご紹介ありましたが、本日は岡山南RCの長家様、大阪北RCの嶋田様、東京日本橋RCの岡様と山田様の4名の方にご出席頂き、ありがとうございました。ごゆっくりお寛ぎください。また卓話としまして、青木会員ご紹介の渋沢栄一記念財団の木村様をお願いすることになっておりまして、楽しみにしております。今日は特に報告事項はございません。

○幹事報告(上田幹事)

本日みなさまのBOXにアトランタ国際大会のガバナーナイトのお知らせを配布いたしました。地区から300名参加を目標とするの大槻ガバナーのお話もありましたので、当クラブでも参加希望者が多数いらっしゃいましたらアトランタツアーを企画したいと考えております。ぜひご検討ください。

○委員会報告(金澤国際奉仕委員長)

まずは国際奉仕委員の方から、カンボジアの現地視察旅行を行います。最少催行人員6名で決行します。現在A案(1月11日～15日)とB案(1月19日～23日)いずれかの日程で行こうかと思っており、まだ決定していませんが、ご希望の方はお配りした用紙に○をつけてお出してください。6名に達したら開催します。

次にアンシャンテ・コンサートを2月25日(土)に第一生命ホールにて開催します。主催は私を含めた7名の任意団体で、小山さんと松井さんに力を貸して頂いています。また、篠塚さんにも音楽を担当して頂いており、協賛として当クラブも名を連ねています。第一部と第二部がございますので、ご参加の程、何卒宜しくお願い致します。

○その他(海瀬ロータリー財団委員長)

テーブルの上に「ロータリー財団ニュース」というチラシを置かせて頂いております。さっと目を通して頂ければ幸いです。

次回例会の予定

次回11月1日(火)の卓話は、猪山敏郎会員です。
演題は「ロータリー情報から」です。



東京新橋ロータリークラブ

事務局 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館3F
TEL 03-3502-7801 / FAX 03-3502-7802

会報委員会 委員長 高橋秀一郎 副委員長 伊賀大祐 委員 富岡洋一 中井隆三 福本正勝 関 隆利